

News Release

**アニメ『ちびまる子ちゃん』
「まる子と涼もう！夏の怪談スペシャル」
～ 8月4日(日)から4週連続放送～**

日本アニメーション株式会社(本社:東京都中央区、代表取締役社長:石川和子)がアニメーションの制作・ライセンス展開を行う『ちびまる子ちゃん』では、2024年8月4日(日)の放送から8月25日(日)まで、「まる子と涼もう！夏の怪談スペシャル」をお送りします。暑い夏を少しでも涼しく...怪談はいつの時代にも子供たちの間で語り継がれていきます。まる子たちと一緒に、少し不思議で怖いエピソードをお楽しみください！



あらすじ

8月4日放送 1441話 『まる子、鏡の幽霊が怖い』の巻

公園で男子たちに合わせ鏡の怖い話を聞いてしまったまる子。家に帰ってふと見ると、何とおじいちゃんが合わせ鏡をしているではないか。あわてて手鏡を払いのけるまる子であったが、おじいちゃんの頭に幽霊がとっついたのではないかと心配する。



8月11日放送 1442話 『くノ一まる子、妖怪城へ行く』の巻

昔々、駿河の国に忍者の家族が住んでいた。本物の忍者道具を持たせてもらえないくノ一まる子は、父からだれも住んでいない妖怪城に隠されているという、ウワサのお宝をとってきたら一人前と認めてやろうと言われる。助太刀したいというおじいちゃんも一緒に、まる子は妖怪城を目指すのであった。



8月18日放送 1443話 『まる子、怖いけど読みたい』の巻

野口さんに怖い漫画を借りたまる子。野口さんのお兄さんはその怖さに思わず声をあげたという。借りたものの、置いておくだけでも怖いと思うまる子。ひとりで読めないまる子はおじいちゃんに読んでもらうのだが...？



8月25日放送 1444話 『まる子、お化け鳥におびえる』の巻

テレビで不気味な声で鳴くお化け鳥の話を見てしまったまる子。その話をたまちゃんにすると、どうやら、家でお化け鳥の声を聞いたのだと言う。一人で留守番をするというたまちゃんのことを心配したまる子は、一緒に留守番をすることに。

◆プロデューサー・前田泰成コメント

暑い今夏にぴったり！ちょっと不思議なお話や、少しだけ怖いお話を8月4週に渡ってお送りします。『ちびまる子ちゃん』らしくも、普段とは一味違うお話をお届けしますので、今夏も日曜夕方の放送をお楽しみに！

<番組概要>

■タイトル

『ちびまる子ちゃん』

■放送日とエピソード

フジテレビ系列にて 毎週（日）午後6時00分～6時30分

前半パートいつもの「ちびまる子ちゃん」らしいお話＋後半パート「怪談」を取り入れたお話

■キャスト

まる子(声:菊池こころ)

お父さん(声:屋良有作)

お母さん(声:一龍齋貞友)

おじいちゃん(声:島田 敏)

おばあちゃん(声:佐々木優子)

お姉ちゃん(声:豊嶋真千子)

他

■スタッフ

原作:さくらももこ

脚本・制作協力:多田弘子(さくらプロダクション)

プロデューサー:前田泰成(フジテレビ)、田中伸明(日本アニメーション)

監督:高木 淳(日本アニメーション)

制作:フジテレビ、日本アニメーション

公式サイト https://www.fujitv.co.jp/b_hp/maruko/

ちびまる子ちゃん公式サイト <https://www.chibimaru.tv/>

ちびまる子ちゃん公式X https://x.com/tweet_maruko

参考資料

『ちびまる子ちゃん』について

「ちびまる子ちゃん」は、静岡県清水市(現・静岡県静岡市清水区)を舞台に、そこに暮らす一家・さくら家の次女である小学3年生のまる子(さくらももこ)と、家族や友だちとの日常を、楽しく面白く、時に切なく描いた心温まる作品です。

1986年に『りぼん』(集英社)で連載を開始し、2021年に原作35周年を迎えました。原作コミックスは全18巻が発売中。発行部数は累計3,250万部を突破(デジタル版を含む)、海外版はアジア各国でも出版されました。1990年からはテレビアニメ放送もスタートし、フジテレビ系列で毎週日曜日夕方6時より放送中。中華圏をはじめとする海外でも放送され、世界中の老若男女を魅了し、長きに亘り愛され続けています。



©さくらプロダクション/日本アニメーション

<本件に関するお問い合わせ先>

日本アニメーション株式会社 広報・宣伝担当:村岡

電話:03-3545-2202 E-mail:pa-NA@nippon-animation.co.jp

※画像掲載の際は画像下部に記載のコピーライトをご使用いただきますようお願い申し上げます。

©S.P/N.A